



# みあさ

令和6年3月15日 No.13

美麻小中学校だより

家庭数配付

(文責 山口直行)

## 絵本づくりに没頭しています ～ 2/28 4年 美麻の民話を伝えよう ～

4年生は今年一年、美麻に伝わる民話の実際の場所を地域の方と訪れ、そこで民話の語りを聞いたり、各地区にどんな民話があるのかを徹底的に調べたりしてきました。こうした美麻の民話を広く伝えていくために、手作りの牛乳パックからくり絵本と折本を作成していこうとしています。地域の酒井さん、中山さん、中島さんをお招きして絵本を作成していますが、みんな真剣そのものです。からくり絵本や折本に、イラストや文章をどのように配置したら読み手に伝わりやすいかを考えながら学習が進んでいます。また、地域の方には、絵本づくりの手順の動画まで作成いただき、直接教えていただくことに加え、何回も動画を再生視聴して絵本を完成させている姿も見られました。こうした学習ができるのも美麻ならではのです。



## イワナがいなくなり、さみしくなりました ～ 2/29 1年 イワナの放流 ～

1年生が12月から育ててきたイワナの稚魚を、土尻川支流の「藤沢」という川に放流しました。まだ、たくさん雪が残る川の上流まで歩いて行き、イワナが過ごしやすいような岩かげに放流します。イワナのプロでもあるスクールパートナーズの阿部さんと漁協の北沢さんが、放流の仕方を教えてくださいました。放流して学校に戻ってきた子どもたちの感想です。小さな命を見つめる1年生の心の育ちが伝わってきます。



○きょう、わたしはイワナのほうりゅうをしました。小さいイワナを川のながれがゆっくりなところに、はなしました。げん気に大きくなってね。

○イワナのほうりゅうをおえて、イワナがいなくなり、さみしくなりました。イワナはたまごから生まれてだんだんとおよげるようになりました。川でもっと生きのびてほしいです。

## 前期課程修了、おめでとう！ ～ 3/15 6年修了式・3学期終業式 ～

本日、6年間の前期課程修了証書が6年生13名に授与されました。自らが漕いだ、世界にたった一つだけの修了証書を手にししました。6年間の義務教育学校前期課程を修了できることは大変意義深く、素晴らしいことです。6年生からは合唱とこれからの決意の発表がありました。

来年度はステップリーダーとなります。また、後期課程のフォロワーともなります。よりよい美麻小中学校のために、力を発揮して欲しいと願います。

### 4月のおもな予定

6日(土) 一学期始業式・入学式  
8日(月) 振替休日  
9日(火) 給食開始・部活発足  
11日(木) 元気アップ運動開始

12日(金) 玄関先家庭訪問(15日、16日も)  
17日(水) 地区児童生徒会(朝)  
19日(金) 授業参観日・PTA総会・学校運営協議会  
22日(月) 9年修学旅行(～24日)

## 一生の思い出に残る送る会に！ ～ 3/12 9年生を送る会 ～

9年生を送る会の主役はもちろん9年生。その9年生が一生の思い出に残るように企画から準備、当日の運営まで携わる1～8年生にとっても、大きな成長の場となる9年生を送る会です。

8年生の新リーダーが本番直前に最終確認をしています。入場はシルエットクイズ。「9年生に会いに行こう！今日は誰に会えるかな？」のかけ声で盛り上がった猛獣狩り。元気アップ運動で取り組んできた雑巾がけリレーで、仲良し班のチームワークの良さを再確認。

ホップ期からは、かわいらしいダンスのプレゼント。5～6年生は「君に捧げる応援歌」で9年生へエールを。7～8年生は、「この人誰だ？ 3ヒントクイズ」を出題。9年生一人ひとりのこれまでの姿に思いを寄せます。さらに9年間の思い出スライドを見ながら感傷に浸りました。9年生全員でくす玉も割りました。

9年生からは在校生へお礼として、全校みんなを巻き込んだダンスホールの熱唱。最後までみんなを楽しませようとする9年生の姿がそこにありました。

8年生を中心とした新自治会は、9年生に感謝とエールをどうやって伝えるか、どうしたら全校が楽しく思い出に残る会になるかを考えながら準備をしてきました。役割を分担し、責任をもって果たしていく姿に、大きな成長を感じました。



## ～ 修了式 校長先生のお話より～

6年生の皆さん、小学校課程の修了おめでとうございます。美麻小中学校は義務教育学校です。義務教育学校とは、小学校とも中学校とも違う平成28年に新たにできた小中一貫の学校のことです。ですから、同じ年齢でも、小学校のように卒業式はありません。皆さんは、小中一貫教育の中ですでに中学校と同じように教科担任制によって学習しています。この美麻小中学校のシステムは、これからの時代を見据えた全国でも一歩先を行くシステムです。

今年先生は、皆さんがいろいろな教科担任の先生と学習している様子を見せてもらいました。自然な対話で興味をどんどん深め、疑問を解決していく6年生。皆さんの疑問は教室にとどまらないでどんどん広がっていました。大町銀嶺豚プロジェクトや、東京見学でも、国会議事堂での皆さんの途切れることなく質問をする姿もを見せてもらいました。対話によって見事に学びを深めている皆さんに、いつも感心していました。また、今年は運動会のリーダーとしても頼もしい姿を見せてくれました。7年生となっても対話があふれる協働の学びを続け、ステップリーダーとしてさらに力を発揮してくれることを楽しみにしています。

ご参列いただいた北澤教育委員様、保護者の皆様、子どもたちの晴れの姿を見守っていただき、ありがとうございます。今後子どもたちを支え、本校が目指す「自律した学習者」として成長できるよう、陰に日向にお導きいただきますようお願いいたします。

全校の皆さん、今日は皆さんにとってもこの一年間の修了式です。この一年、目標に向かってよく頑張りましたね。今年最後のお話をしたいと思います。

「たゆまざる 歩みおそろし かたつむり」という言葉を知っていますか？

どんなお話からできた言葉かというと、長崎の平和祈念像をつくった北村西望さんという人が、ある日、作業を始めようとしたら、昨日の夜は足元にいたかたつむりが、次の日には、高い像の頭のとっぺんまでのぼっているのを見つけて、あんなゆっくりとしか進めないかたつむりなのに、一晩でこんな高いところまで登ったのかとびっくりされたのです。そして、「たゆまざる 歩みおそろし かたつむり」と言ったのです。北村さんは、これ以降、自分は天才ではないので人が5年でやることを10年かけてでも、じっくりやろうと決心されたそうです。人より「歩みは遅くても、一步一步進んでいけば、いつかは高い目標に達することができる」と言っています。

今日は令和5年度の202日目です。かたつむりの一歩も、皆さんが一日に成長できる一歩も、目ではなかなか見つけられませんが、202日の積み重ねは大きいです。夢や目標は、少しずつでも、歩み続けたら必ずたどり着けます。

これからも、皆さんには、歩みの速さや周りを気にするのではなく、夢や目標を持って、着実に積み重ねていける人になって欲しいなと思います。「うさぎとかめ」のお話もしたことがありますが、そう言う人が一番強いと先生は思っています。

夢や目標はそれぞれみんな違うと思いますが、そのための学びは決してひとりぼっちではありません。この一年、友達と対話をしながら問題を自分の力で解決することを皆さんは身につけました。その楽しさも知っている皆さんです。4月からの新しい一年も、対話の学びを大切にしながら、自分の力を伸ばしていきましょう。